



地元小学生に対し「環境学習会」を開催しました

筑後川下流右岸農地防災事業所

筑後川下流右岸農地防災事業所では、平成26年度から毎年、受益地の小学校を対象に環境学習会を開催しております。本年度も下記のとおり開催しましたので、その様子をご紹介します。



11月25日 @みやき町立北茂安小学校
111名(4年生)



11月28日 @神埼市立西郷小学校
31名(4年生)



12月4日 @佐賀市立巨勢小学校
51名(4年生)

はじめに、生徒たちは教室で、佐賀平野のクリークの歴史や、佐賀平野の農業、一般的な水路とは異なるクリークならではの貯留機能・洪水防止機能などについて勉強しました。(講師:筑後川下流右岸農地防災事業所職員)



クリークの役割について説明中



クリークの歴史について説明中



佐賀の農業について説明中

続いて、場所を移動し、クリークに生息している生き物・当事業で実施しているクリーク整備工事のことについて勉強しました。観察水槽やタッチプールでクリークに生息している生き物を自由に観察したり、工事現場で重機を動かし、地盤改良工のデモンストレーションを行うなど、盛りだくさんの内容となりました。



地盤改良工の
デモンストレーション



クリークに生息する生き物の
解説・ふれあい



クリーク内のゴミについて
クイズ・注意喚起

本事業所の環境学習会は、今年度で累計1,724名を超える参加者を迎えました。今後も学習会を通して、多くの生徒達に事業の内容や、その意義について学んでもらいたいと考えております。

